

コクヨ PRESENTS

渋谷能楽

SHIBUYA NOH

第四夜
千秋楽

2020.12.4 金
開場 18:30 / 開演 19:00

渋谷能

次世代を担う能楽師、2020年も劇的に舞う。渋谷に舞う。

国内外から注目され、未来に向けて進化し続ける渋谷に、約650年の歴史を持つ芸能“能楽”の未来を担う若手能楽師が集まり、現代と伝統の世界とを結びます。主な出演者は30代から40代の、次世代を担う若手能楽師。この先40年、50年と活躍する役者達が、五流儀の垣根を取り払い、渋谷に集結。能楽の未来を担う役者が集まります。2019年、Bunkamura30周年記念として立ち上げた当企画は大変好評を博し、お客様のみなならず出演者からも継続を望む声を多くいただき、おかげ様で2020年も開催する運びとなりました。今回のテーマは「直面（ひためん）」。「直面」とは、シテ（主役）が前場・後場を通じて面を用いない、神や幽霊でない現実の男性をシテとする能の演出です。より現実的であり共感する部分が多いけれど決して演劇的でなく、「素顔と言う面」をかけて演じる、静かな中にもドラマチックさを感じさせる能の新たな一面を是非お楽しみください。

千秋楽

第四夜 12/4(金) 18:30 開場 / 19:00 開演

千秋楽はシテ方五流儀が勢揃い。舞囃子、仕舞、一調で技を競います。神秘的な女性の姿で現れる三輪明神の幻想的な世界「三輪」は金春流。相次ぐ平家の敗戦の虚しさで世をはかなんで入水した、風雅な笛の名手の物語「清経」は宝生流。伊勢の海での密漁の罪で沈められた漁師の靈魂が、死してもなお苦しむ姿を描く「阿漕」を喜多流。義経の都落ちの際、関所での弁慶の機転を描いた、歌舞伎でもお馴染みの「勳進帳」を観世流。そして、風流に汐汲を楽しんだ左大臣・源融が月夜に現れ、昔を懐かしんで舞う「融」を金剛流が披露します。また今年は、狂言も上演。今回は特別に、京都の茂山千五郎家と東京の山本東次郎家の競演で、宗旨替え論争をコミカルに描く「宗論」をお楽しみください。

解説：金子直樹

仕舞「三輪」 中村 昌弘 地謡 / 高橋 忍・山中 一馬・本田 芳樹・政木 哲司
 舞囃子「清経」 高橋 憲正 笛 / 杉 信太郎 小鼓 / 鳥山 直也 大鼓 / 亀井 洋佑 地謡 / 和久 莊太郎・辰巳 大二郎・田崎 甫・辰巳 和磨
 舞囃子「阿漕」 佐々木 多門 笛 / 杉 信太郎 小鼓 / 鳥山 直也 大鼓 / 亀井 洋佑 太鼓 / 林 雄一郎 地謡 / 友枝 雄人・友枝 真也・佐藤 寛泰・佐藤 陽
 一調「勳進帳」 鞘澤 光 大鼓 / 亀井 広忠
 仕舞「融」 宇高 竜成 地謡 / 今井 克紀・宇高 徳成・山田 伊純・向井 弘記
 狂言「宗論」 浄土僧 / 茂山 逸平 法華僧 / 山本 則重 亭主 / 山本 則秀 笛 / 杉 信太郎 小鼓 / 鳥山 直也 大鼓 / 亀井 洋佑
 クロージングトーク

特別協力：金子直樹 協力：友枝雄人（シテ方喜多流） 成田遼志（小鼓方幸流）

○都合により公演の一部（出演者・曲目等）を変更する場合がございます。ご了承ください。 ○お問合せ：セルリアンタワー能楽堂 03-3477-6412(平日10:00-18:00、土日祝14:30-17:30)

[今回の公演] 第二夜<振替公演>：2021年3月19日(金) 能「内外詣」金剛龍謹(金剛)

チケット前売開始

MY Bunkamura 先行：10月3日(土)
 一斉発売：10月4日(日) 午前10時より

チケット料金(税込)

S(正面)席 ¥7,000 / A(脇正面)席 ¥6,000
 B(中正面)席 ¥5,000 / 学生(座敷・自由)席 ¥3,500

※学生席は能楽堂のみにて取り扱います。購入の際に学生証をご提示ください。

チケット申込み

- Bunkamura チケットセンター 03-3477-9999(10:00-17:30)
- オンラインチケット MY Bunkamura <https://my.bunkamura.co.jp/>
- Bunkamura チケットカウンター Bunkamura 1F 正面入口右手(10:00-19:00)
- 東急シアターオーブチケットカウンター 渋谷ヒカリエ 2F(11:00-19:00)



主催 セルリアンタワー 能楽堂 / 特別協賛 KOKUYO
 協賛 一般財団法人衆我財団

〒150-8512 東京都渋谷区桜丘町26番1号 B2F
 TEL 03-3477-6412 / FAX 03-3477-0190
<https://www.ceruleantower-noh.com/>